



＼ みんなの声がミライをつくる /

ぐんまこどもモニター

第1回アンケート 報告書

2024年10月

01. 調査概要



調査目的

- 群馬県のこども施策に当事者の意見を反映するため、こどもや若者の皆さんの意見を聴く。
- アンケート結果は、群馬県が新たに策定する「こども計画」の参考とする。

調査期間

令和6年8月30日（金）～9月10日（火）

調査対象

ぐんまこどもモニター 298名

調査方法

WEB（フォーム）による回答

回答数・回答率

259件、86.9%

		第1回アンケート回答		
年齢区分	モニター数	人数	構成比	率
合計	298名	259名	—	86.9%
小学生 (4～6年生)	135名	123名	47.5%	91.1%
中学生	74名	66名	25.5%	89.2%
高校生世代	34名	28名	10.8%	82.4%
大学生世代	55名	42名	16.2%	76.4%

アンケートの質問

【すべての子どもたちが幸せに生活するために】



1. 「子どもの権利条約」を知っていますか？
2. 「子ども基本法」を知っていますか？
3. 【前問で1～3を選択した方のみ回答】知ったきっかけは何ですか？
4. あなたや未来の子どもたちが元気に育つために必要なものは何だと思いますか？
5. あなたと同じくらいの年齢の人に「子どもの権利」について知ってもらうには、どんな方法がよいと思いますか？
6. 周りの大人が、あなたやあなたの考えを大切にしてくれて、「よくわかってもらえた」と思うのはどんな時ですか？
7. 周りの大人から、あなたやあなたの考えが大切にされていないと感じたり、「こんなことを言われるとやる気をなくしてしまう」と思うのはどんな時ですか？
8. 「子どもだからこそできる！」（おとなになったらできない？やりづらいかな？）と思うことは何ですか？

【子どもたちの安心・安全】



9. 身近な犯罪被害には、どのようなことがあると思いますか？
10. 問9で考えてくれたような犯罪被害から身を守るために気を付けていることはありますか？
11. 自分や友達が非行（ひこう＝ルールを守らずに悪いことをしたり、ほかの人を困らせること）をしないために必要なことは、どのようなことだと思いますか？
12. もし自分や友達が犯罪被害にあったり、非行をしてしまったときに、だれ（どこ）に相談しますか？
13. 「少年サポートセンター」を知っていますか？
14. 【前問で1～3を選択した方のみ回答】知ったきっかけは何ですか？

【みんなで話してみたいこと】



15. 「大人」にきいてみたいことや、年齢の近い子ども・若者同士で話し合いたいことはありますか？
16. 今回のアンケートに関係することや、群馬県が行う子どもに関連する様々な取組について、伝えたい意見があれば自由に書いてください。
17. 【第1回お楽しみクイズ】なぜ「子ども基本法」はできたのでしょうか？

【すべての子どもたちが幸せに生活するために】

質問1

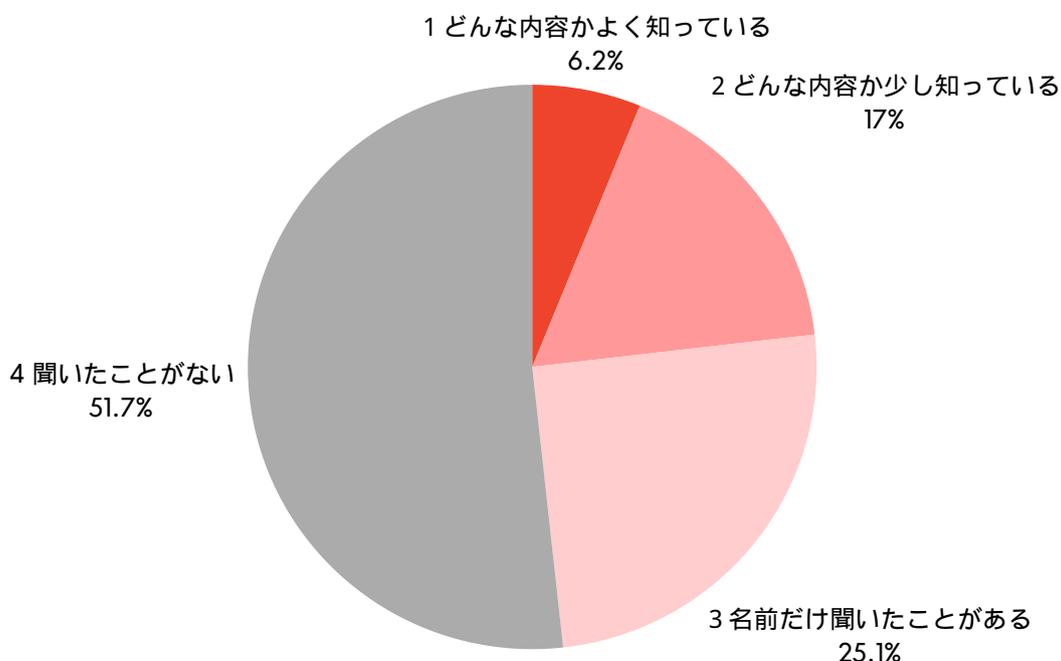
「こどもの権利条約※」を知っていますか？
※国では「児童の権利に関する条約」とよんでいます

- ・ 「こどもの権利条約」を知っている人※の割合は、全体が48.3%、小学生が29.3%、中学生が45.5%、高校生世代が89.3%、大学生世代が81.0%となった
- ・ 年齢が上がるほど、知っている人が多い傾向で、一番認知度が高いのは高校生だった

※「知っている人」、「認知度」は「1どんな内容がよく知っている」「2どんな内容が少し知っている」「3名前だけ聞いたことがある」の合計

全体の認知度

48.3% (n=259)



小学生

29.3% (n=123)

中学生

45.5% (n=66)

高校生世代

89.3% (n=28)

大学生世代

81.0% (n=42)

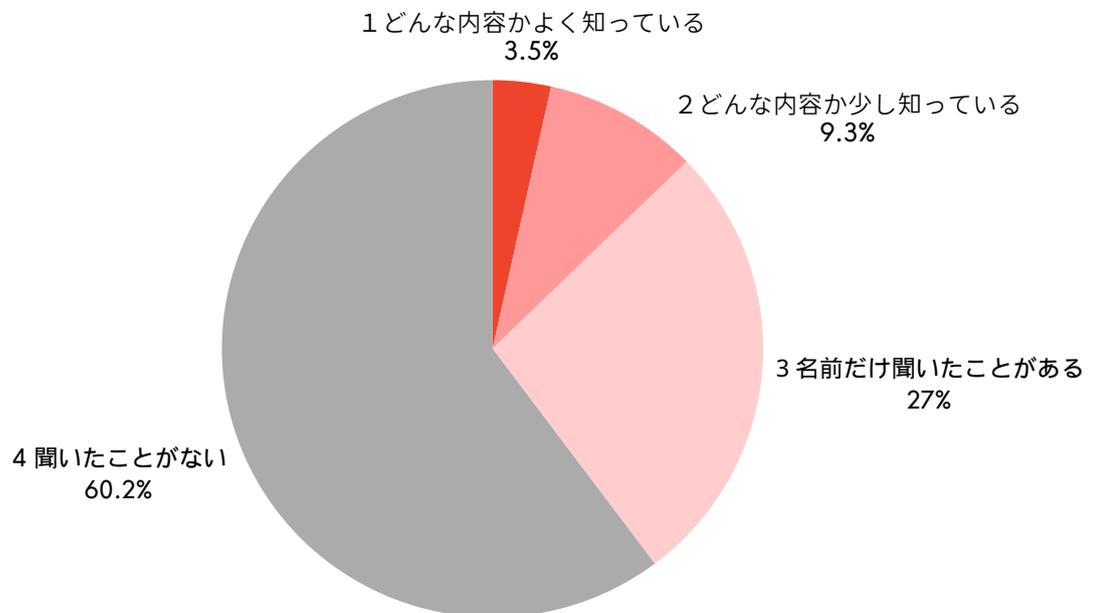
質問2 「子ども^{きほんほう}基本法」を知っていますか？

- 「子ども基本法」を知っている人の割合は、全体が39.8%、小学生が22.0%、中学生が40.9%、高校生世代が75.0%、大学生世代が66.7%となった
- 全体的に「子どもの権利条約」よりも知っている人が少なかった
- 「子どもの権利条約」同様、年齢が上がるほど、知っている人が多い傾向で、一番認知度が高いのは高校生だった

※「知っている人」、「認知度」は「1どんな内容がよく知っている」「2どんな内容が少し知っている」「3名前だけ聞いたことがある」の合計

全体の認知度

39.8% (n=259)



小学生

22.0% (n=123)

中学生

40.9% (n=66)

高校生世代

75.0% (n=28)

大学生世代

66.7% (n=42)

【すべての子どもたちが幸せに生活するために】

質問3

【質問2で1～3を選んだ人だけが回答】

「子ども基本法」を知ったきっかけは何ですか？ ※いくつでも選べます

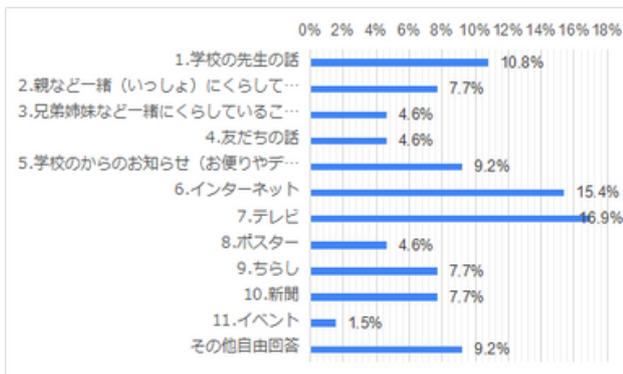
- 全体では多い順に「1学校の先生の話」「6インターネット」「7テレビ」となった
- 各年代では多い順に以下の結果となった
- 小学生は他の世代と比べると「3.兄弟姉妹など一緒にくらしているこどもの話」から知る人が多かった
- 高校生世代は他の世代に比べ「2親など一緒に暮らしている大人の話」の比率が多かった
- 高校生・大学生世代は「1学校の先生の話」が45%以上あった

【回答項目】

1.学校の先生の話 2.親など一緒（いっしょ）にくらしている大人の話 3.兄弟姉妹など一緒にくらしているこどもの話 4.友だちの話
5.学校からのお知らせ（お便りやデータ配信） 6.インターネット 7.テレビ 8.ポスター 9.ちらし 10.新聞 11.イベント、その他自由回答

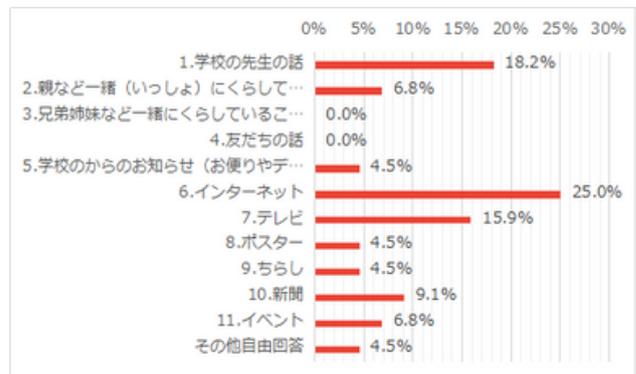
小学生 (n=65)

- 1番「7テレビ」
- 2番「6インターネット」
- 3番「1学校の先生の話」



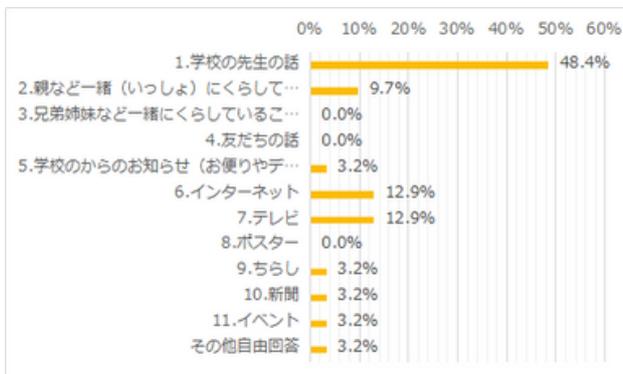
中学生 (n=44)

- 1番「6インターネット」
- 2番「1学校の先生の話」
- 3番「7テレビ」



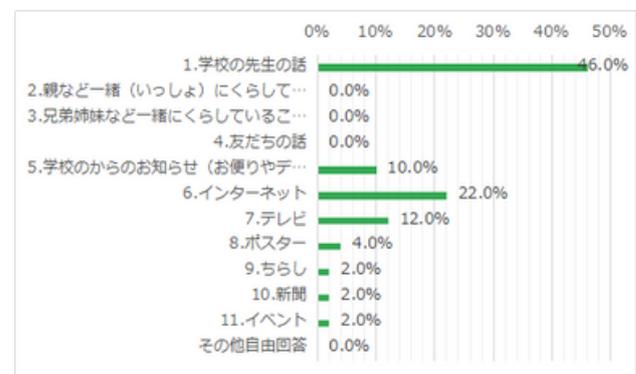
高校生世代 (n=31)

- 1番「1学校の先生の話」
- 2番「6インターネット」
- 2番「7テレビ」



大学生世代 (n=50)

- 1番「1学校の先生の話」
- 2番「6インターネット」
- 3番「7テレビ」



【すべての子どもたちが幸せに生活するために】

質問4

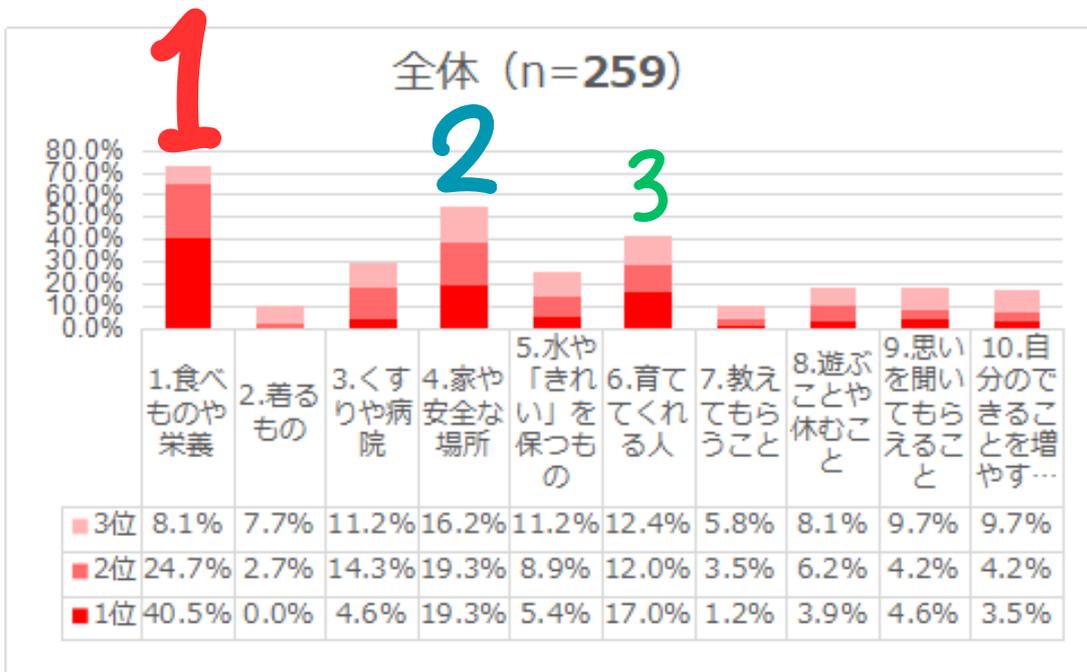
あなたや未来の子どもたちが元気に育つために必要なものは何だと思いますか？ 1～10から特に大切だと思う 1位～3位を選んでください。

※1位～3位を1つずつ選択

- 小学生、中学生、高校生世代は多い順に「1.食べものや栄養」「4.家や安全な場所」「6.育ててくれる人」と同じ結果になった
- 大学生世代のみ「4.家や安全な場所」が「1.食べものや栄養」を上回り、多い順に「4.家や安全な場所」「1.食べものや栄養」「6.育ててくれる人」となった

【回答項目】

1.食べものや栄養 2.着るもの 3.くすりや病院 4.家や安全な場所 5.水や「きれい」を保つもの 6.育ててくれる人 7.教えてもらうこと 8.遊ぶことや休むこと 9.思いを聞いてもらえること 10.自分のできることを増やすこと



年次別の延べ1～3位

小学生

(n=123)

- 1位 「1.食べものや栄養」
2位 「4.家や安全な場所」
3位 「6.育ててくれる人」

中学生

(n=66)

- 1位 「1.食べものや栄養」
2位 「4.家や安全な場所」
3位 「6.育ててくれる人」

高校生世代

(n=28)

- 1位 「1.食べものや栄養」
2位 「4.家や安全な場所」
3位 「6.育ててくれる人」

大学生世代

(n=42)

- 1位 「4.家や安全な場所」
2位 「1.食べものや栄養」
3位 「6.育ててくれる人」

【すべての子どもたちが幸せに生活するために】

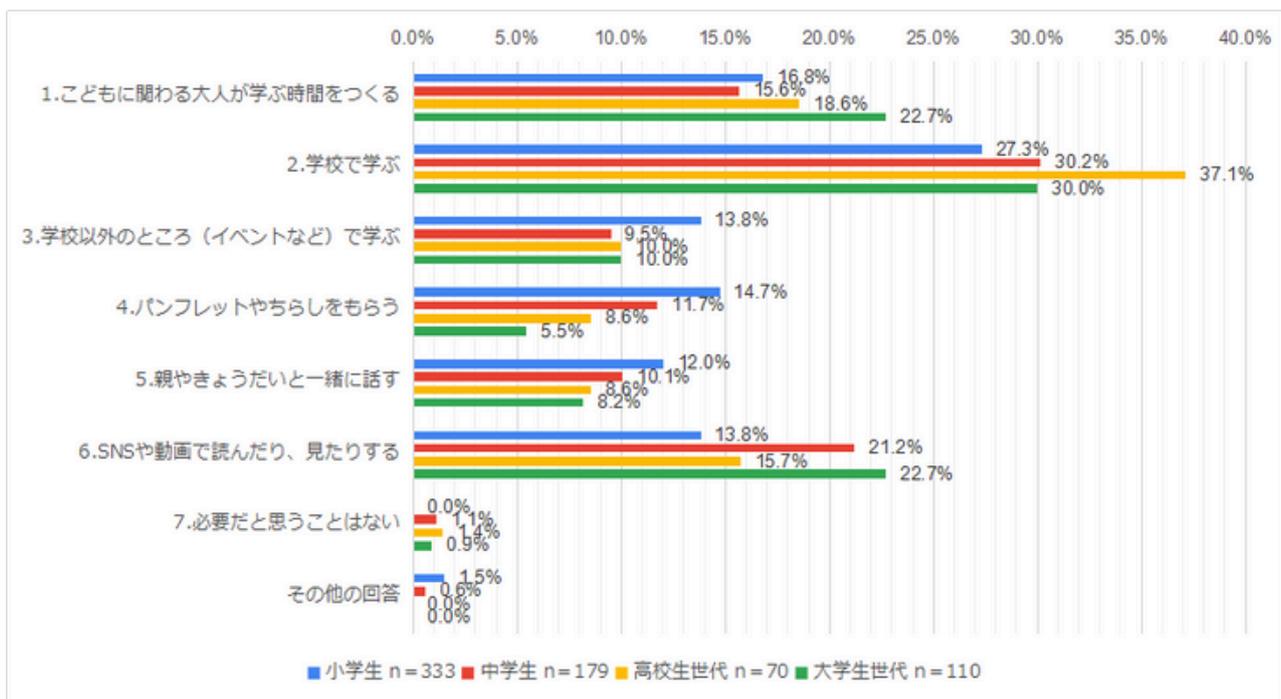
質問5

あなたと同じくらいの年齢の人に「子どもの権利」について知ってもらうには、どんな方法がよいと思いますか？ ※3つ選んでください

- ・ 全ての世代で「2. 学校で学ぶ」が一番多かった
- ・ 各年代では多い順に以下の結果となった
- ・ 小学生は他の世代と比べ「4.パンフレットやちらしをもらう」の回答が多かった

【回答項目】

1.子どもに関わる大人が学ぶ時間をつくる 2.学校で学ぶ 3.学校以外のところ（イベントなど）で学ぶ 4.パンフレットやちらしをもらう 5.親やきょうだいと一緒に話す 6.SNSや動画で読んだり、見たりする 7.必要だと思うことはない その他の回答



年次別の延べ1～3位

小学生

(n=333)

- 1位 「2.学校で学ぶ」
- 2位 「1.子どもに関わる大人が学ぶ時間をつくる」
- 3位 「4.パンフレットやちらしをもらう」

中学生

(n=179)

- 1位 「2.学校で学ぶ」
- 2位 「6.SNSや動画で読んだり、見たりする」
- 3位 「1.子どもに関わる大人が学ぶ時間をつくる」

高校生世代

(n=70)

- 1位 「2.学校で学ぶ」
- 2位 「1.子どもに関わる大人が学ぶ時間をつくる」
- 3位 「6.SNSや動画で読んだり、見たりする」

大学生世代

(n=110)

- 1位 「2.学校で学ぶ」
- 同列 2位 「1.子どもに関わる大人が学ぶ時間をつくる」
- 同列 2位 「6.SNSや動画で読んだり、見たりする」

「その他回答」

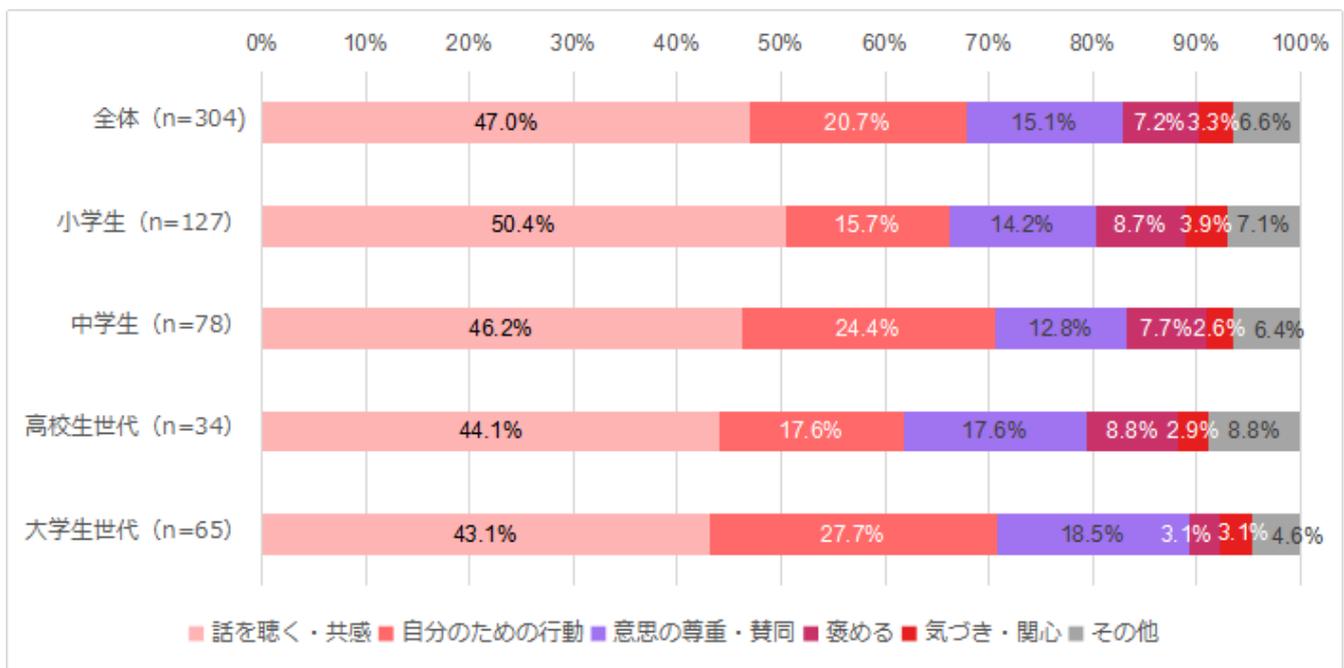
- ・ 道徳のような授業でその話題を取り上げる方法がよいと思います。他には広告やメディアで取り上げ、多くの人に伝える方法がよいと思います。
- ・ CMなどでです。
- ・ 夏休みポスターなどの取り組みを作る。

【すべての子どもたちが幸せに生活するために】

質問6

周りの大人が、あなたやあなたの考えを大切にしてくれて「よくわかってもらった」と思うのはどんな時ですか？自由に書いてください。300字以内

- 全ての年代で「話を聴く・共感」事に関するコメントが最も多く4割を超えた
- 高校・大学生世代になると、進路選択に伴う「意思の尊重・賛同」に関するコメントが多くなった
- 小学生は各年齢区分の中で一番「話を聴く・共感」が占める割合が高かった
- 中学生は部活動や習い事に関連し「自分のための行動」を上げる割合が高くなった
- 高校生世代は進路や将来に関するコメントが増え「意思の尊重・賛同」の割合も高かった
- 大学生世代も進路や将来に関するコメントが多く、各年齢区分の中で一番「自分のための行動」「意思の尊重・賛同」を上げる割合が高かった
- 高校生世代、大学生世代では、相談に対し意見やアドバイスをくれることを、プラスに捉えるコメントも多くなった



※具体的なコメント（抜粋）は次のページ

【すべての子どもたちが幸せに生活するために】

質問6 周りの大人が、あなたやあなたの考えを大切にしてくれて「よくわかってもらえた」と思うのはどんな時ですか？自由に書いてください。300字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

話を聴く・共感

- やさしく話を聞いてくれて、自分の気持ちに共感してくれた時、気持ちに寄り添って励ましてくれた時（小学生）
- 自分だけ意見が違う時。学校で、算数の授業の時、自分が考えたこととみんなの意見が違うけど先生は、私の考えた意見でも、そういう考え方もあるよねと、私の考えを大切にしてくれた（小学生）
- 自分が話してる話を遮らずに聞いてくれて、こういうことで合ってる？と確認してもらったとき。また、自分の意見をもととの意見の中に反映してもらったとき。目を見て話を聞いてくれたり、話してる途中で他のことをしないで、話を聞くためだけに時間を作ってくれたりしたとき（中学生）
- 将来の夢や大学の進路に関して、意見があるにしろまず否定から入らず、肯定してくれること（高校生世代）
- 自分の考えを最後まで聞いてもらえたとき。子どもとして、ではなく一人の人として対等に話してもらえたとき（高校生世代）
- 最初から最後まで、話を遮ることなく傾聴してくれて、最終的に肯定してくれた時。話を聞いた結果考えを変えてくれた時（大学生世代）
- 「うんうん」「そうだよね」と頷いて聞いてくれるときに、自分が何か言っても聞いてくれる人があるという安心感や認めてもらえることから自己肯定感を感じる。相手の表情がペアと明るくなったり、うーんと考えていたり、表情が大きく変わった時に、自分の言ったことが受け入れてもらえている感じがする（大学生世代）

自分のための行動

- ご飯を作ってくれる時（小学生）
- ほしいものを、理由を説明して、納得して、買ってもらえた時（中学生）
- 私が何か熱心に取り組もうとした時です。（中略）朝早く家を出る時もありました。そんな時朝早くに朝ごはんを作ってくれたり、大会まで送迎してくれたり、応援してくれた親は私のことを理解してくれてたんだと言葉ではないですが、しみじみと感じました（中学生）
- 「そうだね」と言ってそれをすぐに行動に移してくれるとき。または、「ここはこうだからこうじゃないかな？」と自分が考えていたアイデアについて一緒に真剣に考えてくれたとき（高校生世代）
- 学校や大事な用事がある時に送迎をしてくれた時（大学生世代）

意思の尊重・賛同

- 色々あって学校に行きたくない時にお母さんがいつもがんばっているから、たまには休んで行きたいところ行こうって言うてくれたとき（小学生）
- 部活動に参加して上手になりたいから、練習がある日は予定を入れなくてと言ったら、その意見を尊重してくれて、応援してくれた時（中学生）
- 困った時に私を信じてくれて、アドバイスしてくれた時（高校生世代）
- 親に相談したとき、自分の将来の選択を自由にさせてもらえるところ（大学生世代）

褒める

- 良くできたねと言われた時（小学生）
- 自分の頑張りを褒めてもらえる時（中学生）
- 本番で上手いかわなくても、それまでの練習や努力を認めて褒めてくれた時（高校生世代）
- 自分自身がやったことに対して褒めてくれたり、改善しようとしてくれる時は大切にされているなど感じます（大学生世代）

気づき・関心

- ママとパパがわたしに「どうしたの？」と聞いてくれた（小学生）
- 詳しく理解しようと自分に質問などをしてくれた時（中学生）
- 一般論や正しい答えを伝えるだけでなく、あなたは思うか？と問いかけてくれた時（大学生世代）

その他

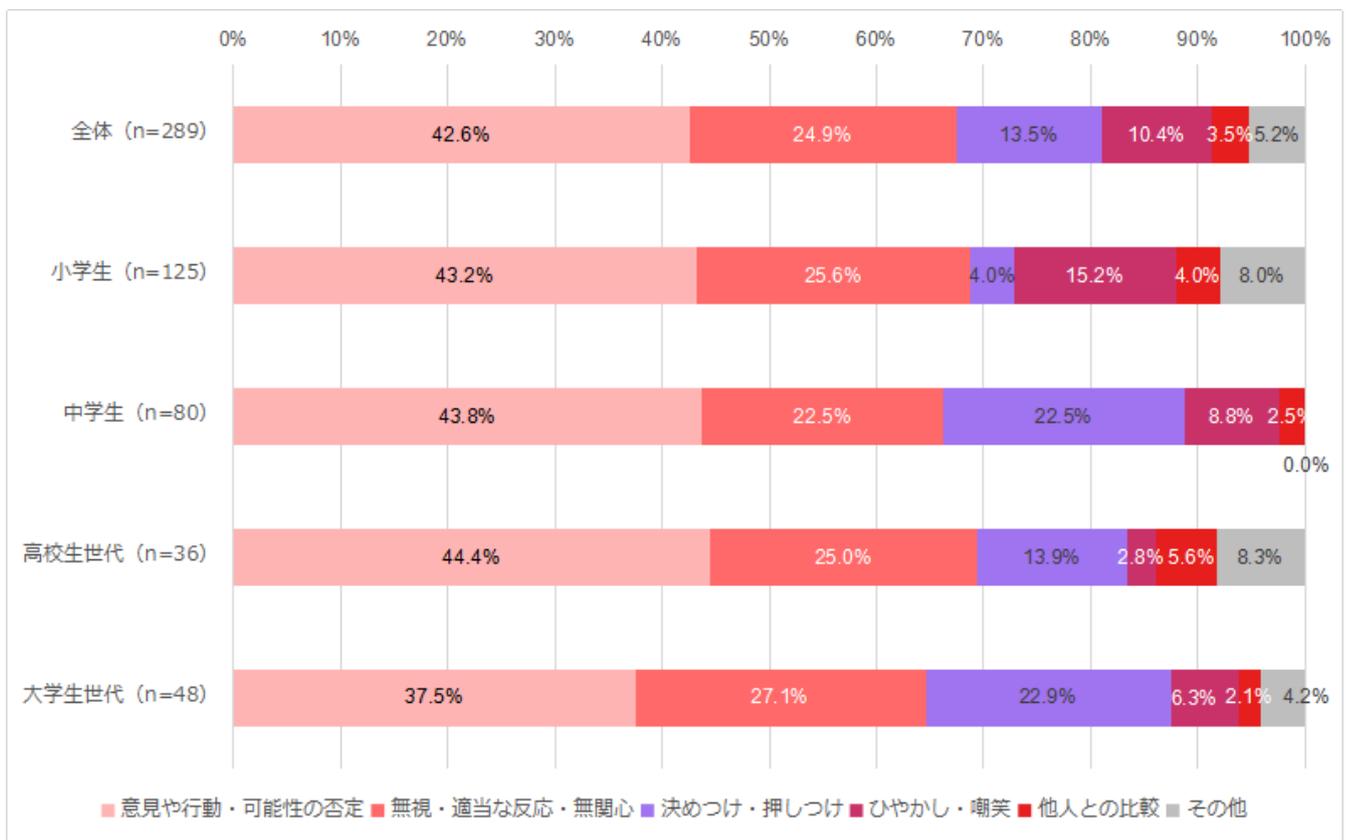
- 何か意見を言った時に筋の通った反論をなげかけられる時（高校生世代）

【すべての子どもたちが幸せに生活するために】

質問7

では反対に、周りの大人から、あなたやあなたの考えが大切にされていないと感じたり「こんなことを言われるとやる気をなくしてしまう」と思うのはどんな時ですか？自由に書いてください。 300字以内

- どの世代も「意見や行動・可能性の否定」が一番多く、次に「無視・適当な反応・無関心」が多かった
- 小学生は「ひやかし・嘲笑」についてのコメントが他の世代よりも多かった
- 中学生以上になると「決めつけ・押しつけ」に対するコメントが多くなり、中学生・大学生世代では20%を超えた
- 高校生世代では「他人との比較」に対するコメントが他の世代よりやや多かった
- 大学生世代では「決めつけ・押しつけ」を上げる人が他の世代より多く、社会や一般的な価値観に当てはめられることへの難しさのコメントも複数見られた
- 高校生・大学生世代では「子どもだから」という決めつけが嫌だという意見が見られた
- 世代を問わず「やろうとしていることを、やれと指示される」ことを上げる声が多かった



※具体的なコメント（抜粋）は次のページ

【すべての子どもたちが幸せに生活するために】

質問7

では反対に、周りの大人から、あなたやあなたの考えが大切にされていないと感じたり「こんなことを言われるとやる気をなくしてしまう」と思うのはどんな時ですか？自由に書いてください。

300字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

意見や行動・可能性の否定

- やろうとしているのにやれと言われること（小学生）
- ○○しないと○○なしだよなどと言われた時（小学生）
- 自分はできたと思ったのにもっとやったらと言われた時にやる気をなくします（小学生）
- 自分の意見とは反対の意見を、むりやり強制される時（中学生）
- 失望されたとき（中学生）
- 全部を聞かないで怒られたり否定されたとき（中学生）
- 昔の慣習に従ってなんでもNOと言われるとき（高校生世代）
- 危険だからという理由で挑戦を止められたとき（高校生世代）
- まだこの年代で夢を見てるだけかもしれないが、そんな夢では将来やっていけないなどと現実的な解決を提案される時（大学生世代）
- 意見を真っ向から反対したり、初めから要望等は聞けないというスタンスで話を聞かれてしまう時（大学生世代）

無視・適当な反応・無関心

- 私がかまって欲しい時に親が相手をしてくれない時（小学生）
- しっかり手を挙げて、発表しようとしているのに、先生が指してくれない時（小学生）
- うんとしか言わない時とか頷くしかしない時（小学生）
- 話を無視される。軽い内容で終わらせられる。別の話題に変えようとしてくる（中学生）
- 適当に返事をされた時、私の意見を聞かないで大人の意見を押し付けられた時（中学生）
- 本当に私が言わんとしていることを理解して返事してくれているのかがわからないとき。または真面目に取り合ってくれないとき（高校生世代）
- 大切にされていないと感じる時は、何もされない時です。自分の意見を無視されたり、考えを行っても何も行動してくれなかったりすると大切にされていないと感じます。言われるとやる気をなくしてしまうのは、「どうせできない」「無理だよ」等という否定のことばです（大学生世代）

決めつけ・押しつけ

- 勝手に決めさせられた時（小学生）
- これをやれ！と指示されるとやる気をなくす（中学生）
- 全面的に否定されて自分の意志とは逆のようなことを強要される時（高校生世代）
- 女子だから、優秀ではない学校だから、長女だからと決めつけによって理想像を勝手に定められてその通りの行動を求められるとき。そこから逸脱すると批判されるのがわかっているので自分で自分の行動を制限してしまう時（大学生世代）

ひやかし・嘲笑

- 自分が不得意なこと嫌なことを言うてくる時（小学生）
- 前もあったよね、もういい、ばかじゃないの（中学生）
- 先生にクラス全員の前で怒られる、いじられる時。44人のクラスだからかもしれないが、担任の先生が無口なので何事も話しくくて、見放されている感じがする（高校生世代）
- けなされたり、笑われたりした時（大学生世代）

他人との比較

- ともだちや弟と比べられたとき。話を聞いてくれないとき（小学生）
- 友達と比べられる時（中学生）
- 「そんなことは当たり前でできるよね」と言われるとやる気がなくなる（高校生世代）
- 「あなたがやらなくても周りにできる人はいくらでもいる」など自分の力を認めてもらえない状況では、自分の価値に自信がなくなってしまうと思う（大学生世代）

その他

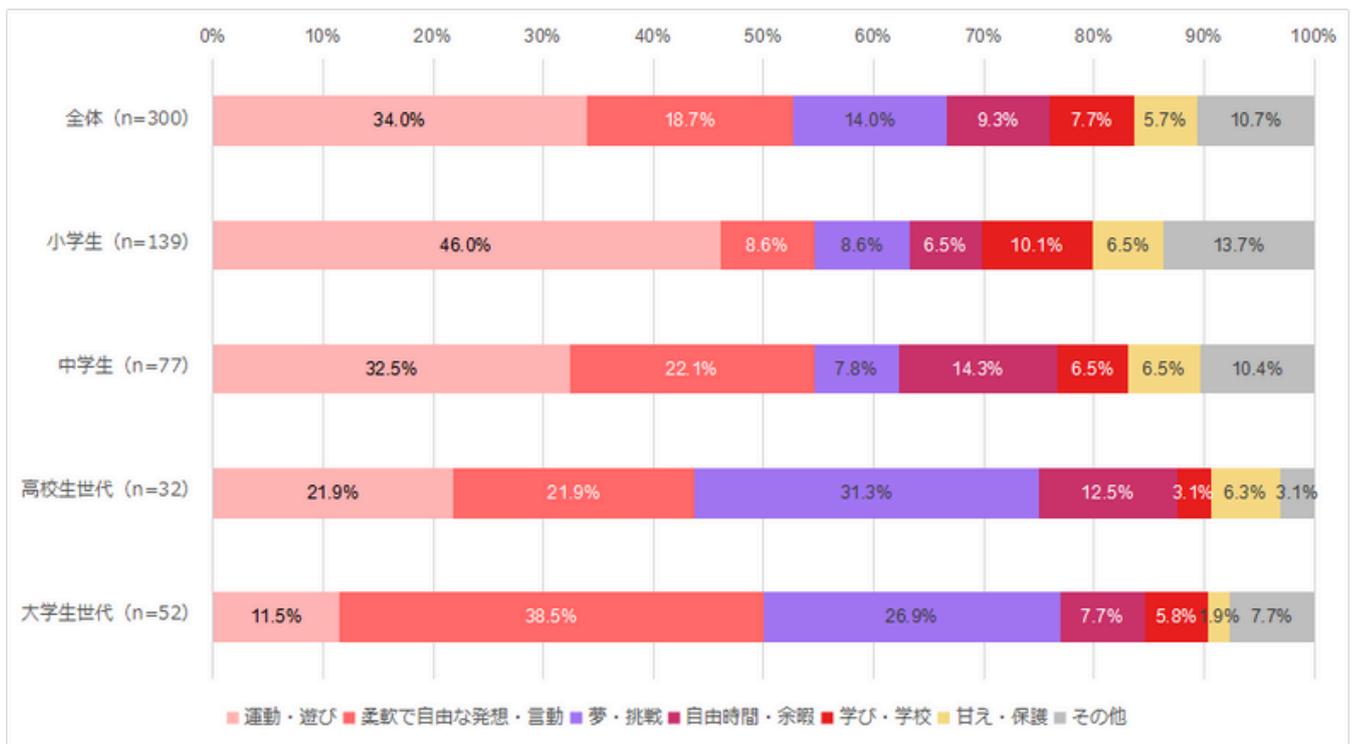
- 友達とけんかをしたとき（小学生）
- 学校の校則（高校生世代）
- アルバイト中のクレーム（大学生世代）

【すべての子どもたちが幸せに生活するために】

質問8

「子どもだからこそできる！」（おとなになったらできない？やりづら
いかな？）と思うことは何ですか？自由に考えて書いてください。 300字以内

- ・小学生、中学生は「運動・遊び」が一番多く、特に小学生は多く45%を超えた
- ・中学生では「柔軟で自由な発想・言動」を上げる人が増えた
- ・高校生、大学生世代では「夢・挑戦」を上げる人が増え、高校生世代では一番多い回答となった
- ・大学生世代では「柔軟で自由な発想・言動」が一番多く、次いで「夢・挑戦」が多く「失敗を恐れずに」というコメントも多く見られた



※具体的なコメント（抜粋）は次のページ

【すべての子どもたちが幸せに生活するために】

質問8

「子どもだからこそできる！」（おとなになったらできない？やりづら
いかな？）と思うことは何ですか？自由に考えて書いてください。 300字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

運動・遊び

- 公園でみんなで元気に遊ぶこと（小学生）
- 鬼ごっこ。かくれんぼ。綱引き。棒登り。鉄棒（小学生）
- 部活や運動（中学生）
- 時間を気にせず思いっきり遊ぶこと（中学生）
- 友達とカラオケに行ったり、友達の家に泊まりに行くことは仕事があるとやりづらいと思います（高校生世代）
- スポーツや遊具で遊ぶなど体をたくさん動かすこと。スポーツも子どもの頃ならあまり怖がらずにできることも多いと思う。また、大人になると体力が子どもよりも無くなり、多くの人は外で走り回って遊んだりすることはあまりしなくなると思うから（大学生世代）

柔軟で自由な発想・言動

- 子どもだからこそ想像力がすごい（小学生）
- 先生や大人などの目上の人に正直に間違いなどを指摘すること（小学生）
- わがまま、いろいろなことを考えずに発言する（中学生）
- 近所の人に当たり前のように挨拶をすることや、友達と思い切り意見を言い合うこと（中学生）
- 自分の進路やあり方について、周りの考えにとらわれず、ゆっくり自由に考えること（高校生世代）
- ありのままのイメージで思い切り絵を描くこと。（子供は、想像力や発想力の幅が広い。）どんな街にしたい？というアイデアを出すこと（大人は現実的になってしまう）（大学生世代）

夢・挑戦

- 自由に好きな様に夢を思い描く事（小学生）
- どんなこともできると思って何事もチャレンジすること（小学生）
- 積極的に行動が起こせること（中学生）
- 失敗が許されること（中学生）
- とにかく挑戦したり、全力で行動すること。子供だからこそ親の助けがもらえるから、全力でなにかに取り組めると思う（高校生世代）
- 失敗は子どもだからできることだと思う。失敗から学ぶことができれば、それは無駄にはならないと思うので、沢山失敗することがいいと思う。大人になると、責任が必要なので失敗は難しいと考えた（大学生世代）

自由時間・余暇

- 夏休みになにも考えないでゲームしてられる（小学生）
- 自分の好きなことを好きなだけやる（小学生）
- 自分がやりたいように楽しく遊ぶこと（中学生）
- 何もしないこと（中学生）
- 勉強時間が自由である（高校生世代）
- 友達と時間を気にせず話したり過ごせること（高校生世代）
- 長期の休みをとって旅行に行くこと。やりたいことをやりたい時にやりたい時間やること（大学生世代）

学び・学校

- 学校へ行って、学べること（小学生）
- 習い事（小学生）
- 学校生活（中学生）
- 好きなことを色々勉強する事（中学生）
- 勉強や部活動（大学生世代）

甘え・保護

- わがままを言うこと（小学生）
- 母や父に甘える事（中学生）
- 誰かに頼りっきりになることは子どもの特権だと思います（高校生世代）
- おねだり（大学生世代）

その他

- 記憶力（小学生）
- 子供の立場での大人への主張（中学生）
- ツインテールなど、可愛い系の格好（高校生世代）
- 初対面の人と隔たりなく、仲良くすること。また対等な関係を築くこと（大学生世代）

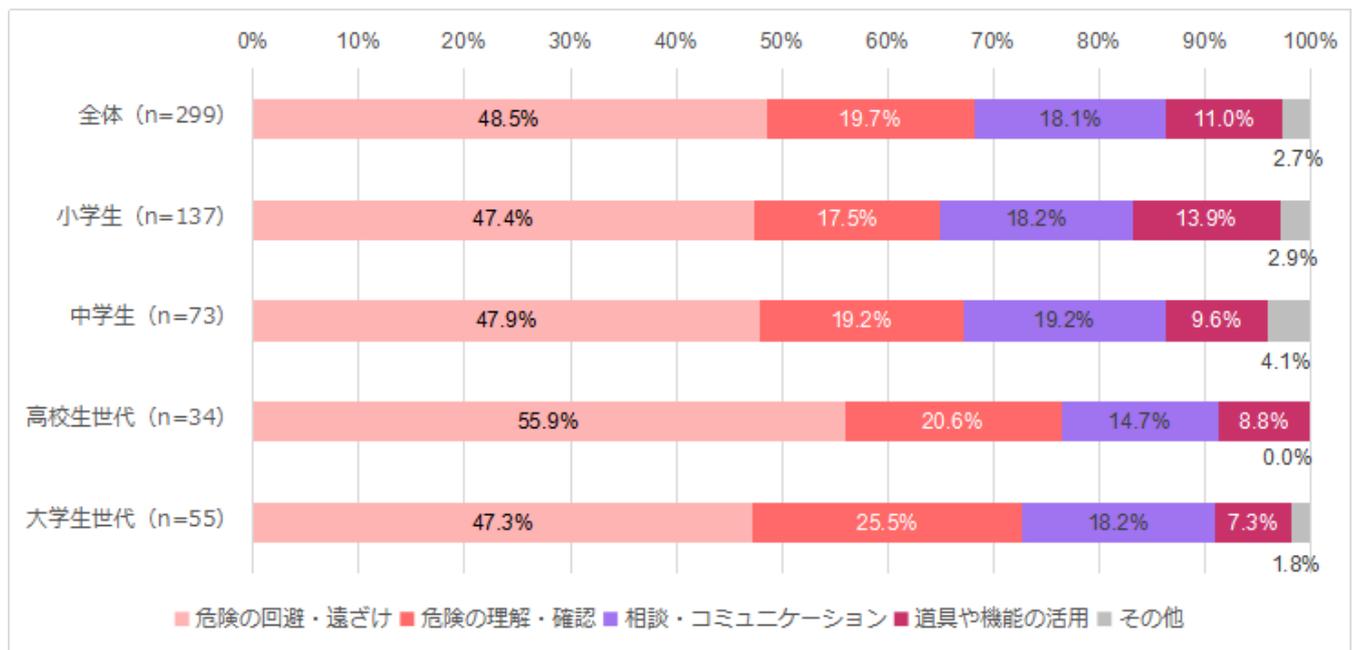
【こどもに対する犯罪やこどもの非行への対応について】

質問10

「質問9」で考えてくれたような犯罪被害から身を守るために気を付けていることはありますか？具体的に教えてください。

100字以内

- 全ての世代で「危険の回避・遠ざけ」に関するコメントが一番多かった
- 小学生では「相談・コミュニケーション」が2番目に、「危険の理解・確認」が3番目に多かった
- 中学生、高校生世代、大学生世代では「危険の理解・確認」が2番目に、「相談・コミュニケーション」が3番目に多かった



※具体的なコメント（抜粋）は次のページ

【こどもに対する犯罪やこどもの非行への対応について】

質問10 「質問9」で考えてくれたような犯罪被害から身を守るために気を付けていることはありますか？具体的に教えてください。

100字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

危険の回避・遠ざけ

- あまり人気のないところに行かない（小学生）
- 1人で留守番している時に誰かがインターホンがなってもでない（小学生）
- わるぐちを言う人に関わらない、近づかない（小学生）
- SNSを使わないか、そのような言葉を見ない、気にしすぎない（中学生）
- 暴力を振るわれそうな人に近づかない（中学生）
- お金は必要以上に持っていかない（中学生）
- 自分のものは自分で管理する（高校生世代）
- むやみやたらに個人情報が発信しない。具体的には、SNSに写真を投稿するときは絶対に顔は自分も相手もモザイクで消す。また、SNSで新しい出会いを探そうとしない（高校生世代）
- SNSに悪口を書かない、帰るときは複数人で帰る（大学生世代）
- 友達や先生、地域の方がいる場所を通ったり、困った時に駆け込める家を探しておくことで身を守ることができると思います（大学生世代）

危険の理解・確認

- 小さい子に親や学校から指導する（小学生）
- ひとりで歩いている時、まわりのことを警戒している（小学生）
- 今一度うち間違えが無いか確認し、人をよく観察する（中学生）
- あまり情報を鵜呑みにしない（中学生）
- 詐欺などのことを学校の防止活動時にしっかりと学習する（高校生世代）
- ネットリテラシーをみにつける（大学生世代）
- 人権感覚を身につけるとともに、人間関係を選ぶということ（大学生世代）

相談・コミュニケーション

- 家族、学校の先生（信頼できる人）相談することです（小学生）
- 友達に寄り添うことや、暴言やいじめをしそうな人からは離れて過ごす（小学生）
- SNSで迷うことがあったら、1人で解決せず、親に確認してから（中学生）
- 助けてくれる友達を持つこと（中学生）
- 相手の気持ちを考えて言動に注意する（高校生世代）
- 不快なイジリやノリはきちんと嫌であることを意思表示する（大学生世代）
- 法律、相談窓口を知ること。対応の参考事例を知ること（大学生世代）

道具や機能の活用

- 防犯ブザーを持っている（小学生）
- スマートフォンはフィルタリングにかける（中学生）
- 笛を持ち歩く(出かける時)（高校生世代）
- SNSの誹謗中傷について、SNSのコメントをできない設定をしている（大学生世代）

その他

- 防犯ブザーも付けてないけど大声は出せる（小学生）
- 規律正しく生きる、変な方向に進まない（中学生）

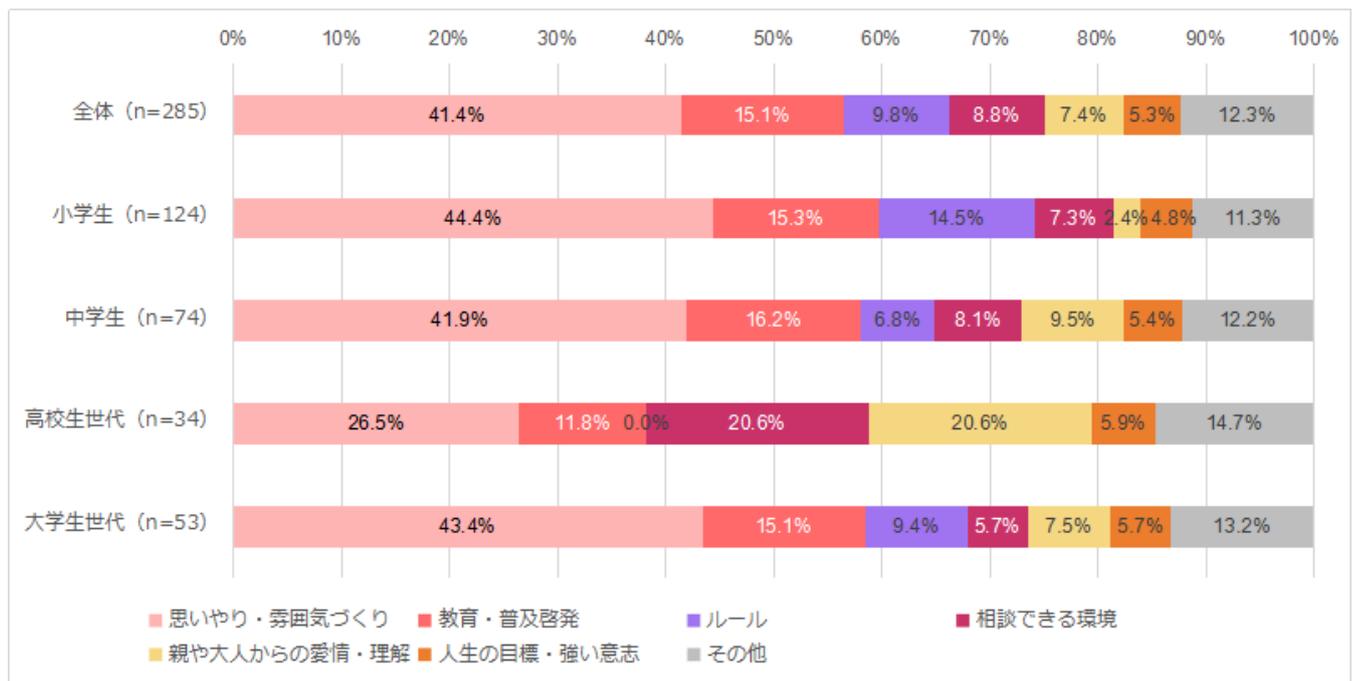
【こどもに対する犯罪やこどもの非行への対応について】

質問11

自分や友だちが非行（ひこう＝ルールを守らずに悪いことをしたり、ほかの人を困らせること）をしないために必要なことは、どのようなことだと思いますか？

100字以内

- 全ての世代で「思いやり・雰囲気づくり」に関するコメントが一番多かった
- 小学生は他の世代より「ルール」に関するコメントが多かった
- 中学生、高校生世代、大学生世代では「相談できる環境」「親や大人からの愛情・理解」の大切さに対するコメントが増え、特にこの2つに対する高校生のコメントは多かった



※具体的なコメント（抜粋）は次のページ

【こどもに対する犯罪やこどもの非行への対応について】

質問11

自分や友だちが非行（ひこう＝ルールを守らずに悪いことをしたり、ほかの人を困（こま）らせること）をしないために必要なことは、どのようなことだと思いますか？

100字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

思いやり・雰囲気づくり

- 見て見ぬふりをしない、だめだよと声をかける（小学生）
- 思いやりと相手の立場で考えること（小学生）
- 止めてあげる。止めるのが怖かったら、先生や家族に相談する（中学生）
- 友達のことを思って接すること（中学生）
- 非行をしたことで周りの人たちがどれだけ悲しい思いをするのかを理解しておくこと（高校生世代）
- 友達と頻りにコミュニケーションをとり、どのようなことをしているかなど近況を聞く（大学生世代）
- 具体的にどのような事がよくないのか日頃から話し合っておく（大学生世代）

教育・普及啓発

- 道徳でおそわったり、親からおそわる（小学生）
- ポスターをつくって、宣伝する（小学生）
- 日々の生活指導（中学生）
- したらこうなるということを学校で教わる（中学生）
- ルールについてしっかり指導する（高校生世代）
- 親や学校による教育で、ルールだけ教えるのではなく、心で納得できるような教育が必要だと思う（大学生世代）
- 非行をすると将来の自分のためにも良くないということを学校のイベントや普通の授業でも学生に伝え、理解させる（大学生世代）

ルール

- ルールを守る（小学生）
- ルールを、おしえる（小学生）
- ルールがある意味をみんなが理解すること（中学生）
- ルールを破ったときの罰則を理解させておく。必要があれば重くする（大学生世代）

相談できる環境

- 悩みがあるから相談できずに非行をしてしまうと思うから、国や県、市の相談センターよりもっと相談しやすい環境を整えることが必要（小学生）
- おやにはなす（小学生）
- 非行をしたくなるほど苦しいことがあるのだから、それを相談する（中学生）
- すぐに警察に相談する姿勢、逃げる場所を安全な場所につくること（高校生世代）
- 相談しやすい環境を整備しておくこと。正しく子供を導くことのできる大人が周囲にいること（大学生世代）

親や大人からの愛情・理解

- 親が悲しむからしない（小学生）
- 身近な大人の声かけ（中学生）
- ちゃんと話を聞いてくれる大人のひとと、日々話したり、相談することで、心を安定させること（高校生世代）
- 幼い頃からの親や家族からの愛。今まで生きてきて、いじめに加担する子は親とうまくいってない家庭がすごく多いような気がする。自分より下がいると安心するから...克服できず、大人になっても拗らせて非行に走ってしまった人もいた。親に愛されて育った人は子も愛せる気がする（大学生世代）

人生の目標・強い意志

- 自分がされて嫌なことはしない（小学生）
- 自制心を持つこと（小学生）
- 自分の意思、しっかりとした気持ち（中学生）
- 悪いことをする誘惑に打ち勝つ勇気を持つ事が必要だと思います。そのためにも周りに流されないしっかりと自分を持つことが大事だと思います（大学生世代）

その他

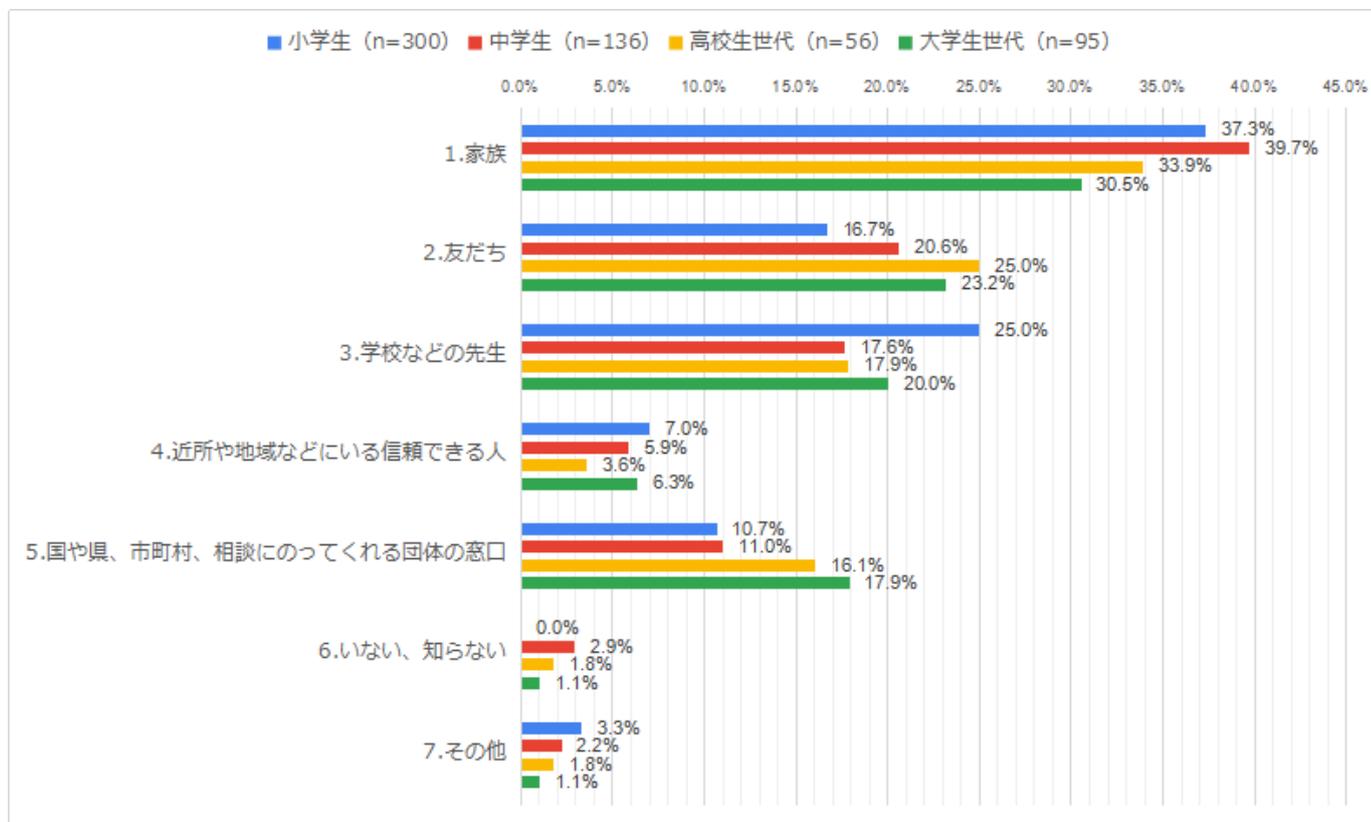
- 周りの大人を見て学習すること（中学生）
- そういったことをする人たちにできる限り関わらないようにする（高校生世代）
- 非行に走らないために、ある程度欲望を叶えることが大切だと思う（大学生世代）
- 自分に向き合う時間を作る（大学生世代）

【こどもに対する犯罪やこどもの非行への対応について】

質問12 もし自分や友だちが犯罪被害にあったり、非行をしてしまったときに、だれ（どこ）に相談しますか？

※いくつでも選べます

- ・ 全ての世代で1番多かったのは「1.家族」だった
- ・ 中学生、高校生世代、大学生世代は「2.友だち」が2番目に多く「3.学校などの先生」が3番目に多かった
- ・ 小学生は反対に「3.学校などの先生」が2番目に多く「2.友だち」が3番目に多かった
- ・ 大学生世代になると「5.国や県、市町村、相談にのってくれる団体の窓口」の数も増えた



年次別の延べ1～3位

小学生
(n=300)

- 1位 「1.家族」
- 2位 「3.学校などの先生」
- 3位 「2.友だち」

中学生
(n=136)

高校生世代
(n=56)

大学生世代
(n=95)

※中学生、高校生世代、大学生世代の多い順1位～3位は同じ結果になりました。

- 1位 「1.家族」
- 2位 「2.友だち」
- 3位 「3.学校などの先生」

■「その他回答」

- ・ 警察、警察署、警察官、交番 (回答数10) ・ 近くに住んでいるおばあちゃん (回答数2) ・ 塾の先生 (回答数2)
- ・ 弁護士 ・ 子供安全協力の家 ・ 相談できない

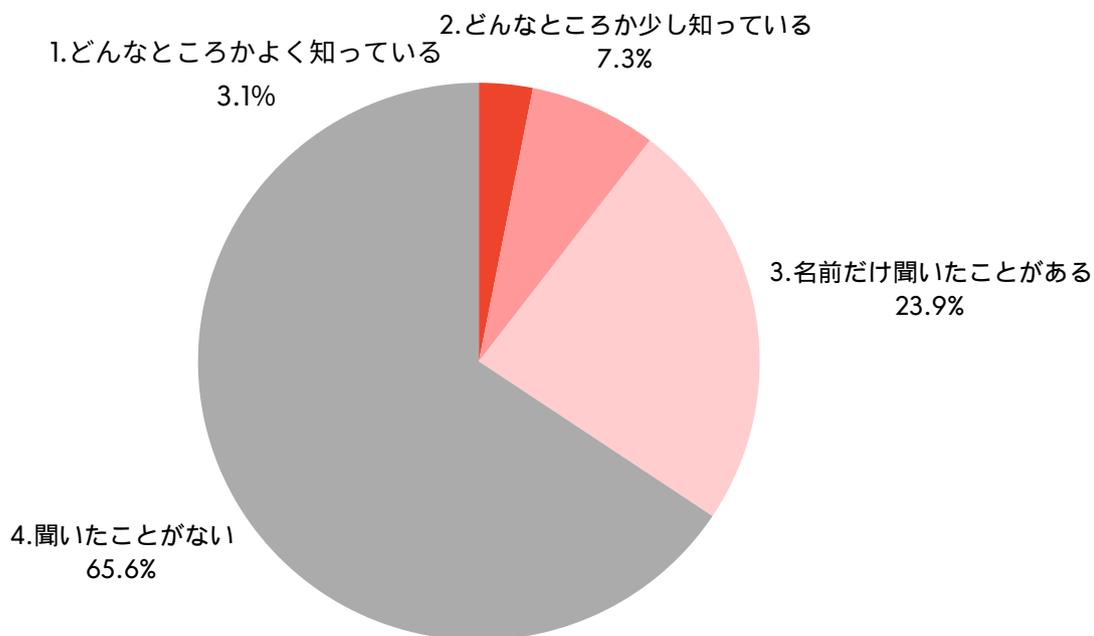
質問13 「少年サポートセンター」を知っていますか？

- ・ 「少年サポートセンター」を知っている人の割合は、全体で34.4%、小学生が33.3%、中学生が36.4%、高校生世代が46.4%、大学生世代が26.2%となった
- ・ 高校生世代までは年齢区分が上がるほど、知っている人が多い傾向で、一番認知度が高いのは高校生だった
- ・ 大学生世代の認知度が一番低い結果となった

※「知っている人」、「認知度」は「1.どんなところかよく知っている」「2.どんなところか少し知っている」「3.名前だけ聞いたことがある」の合計

全体の認知度

34.3% (n=259)



小学生

33.3% (n=123)

中学生

36.4% (n=66)

高校生世代

46.4% (n=28)

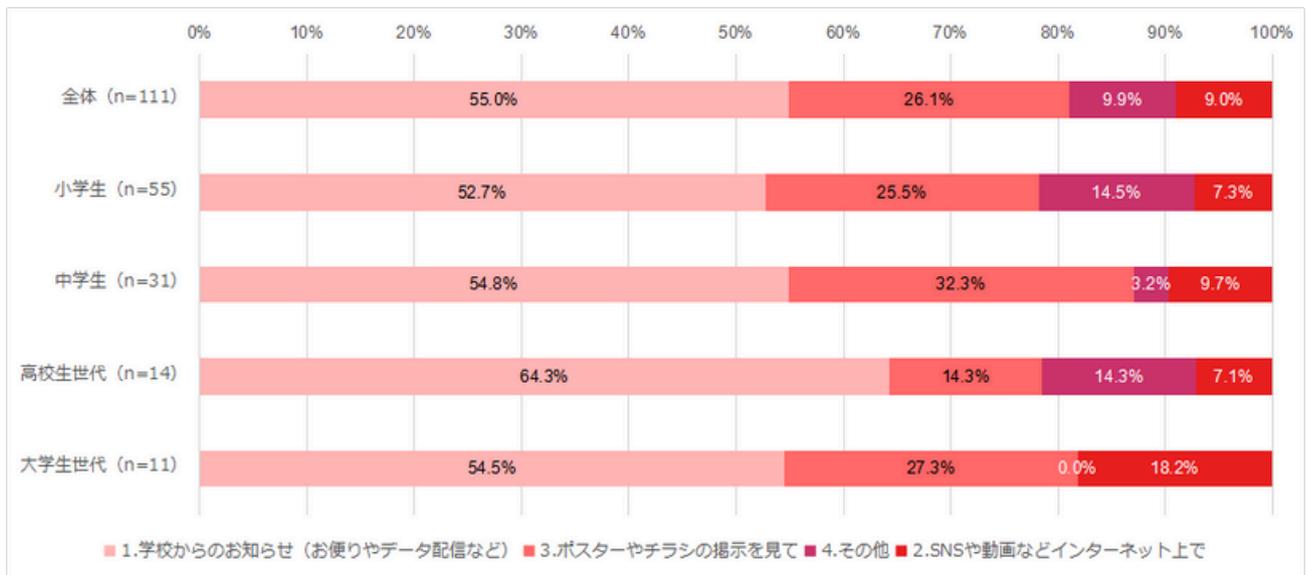
大学生世代

26.2% (n=42)

【こどもに対する犯罪やこどもの非行への対応について】

質問14 【質問13で1～3を選んだ人だけ回答】 ※いくつでも選べます 「少年サポートセンター」を知ったきっかけは何ですか？

- 全体的に「1.学校からのお知らせ（お便りやデータ配信など）」が一番多く、次に「3.ポスターやチラシの掲示を見て」が多かった
- 「その他」では、「きょうだい」「家族」から聞いたという回答があった



【みんなで話してみたいこと】

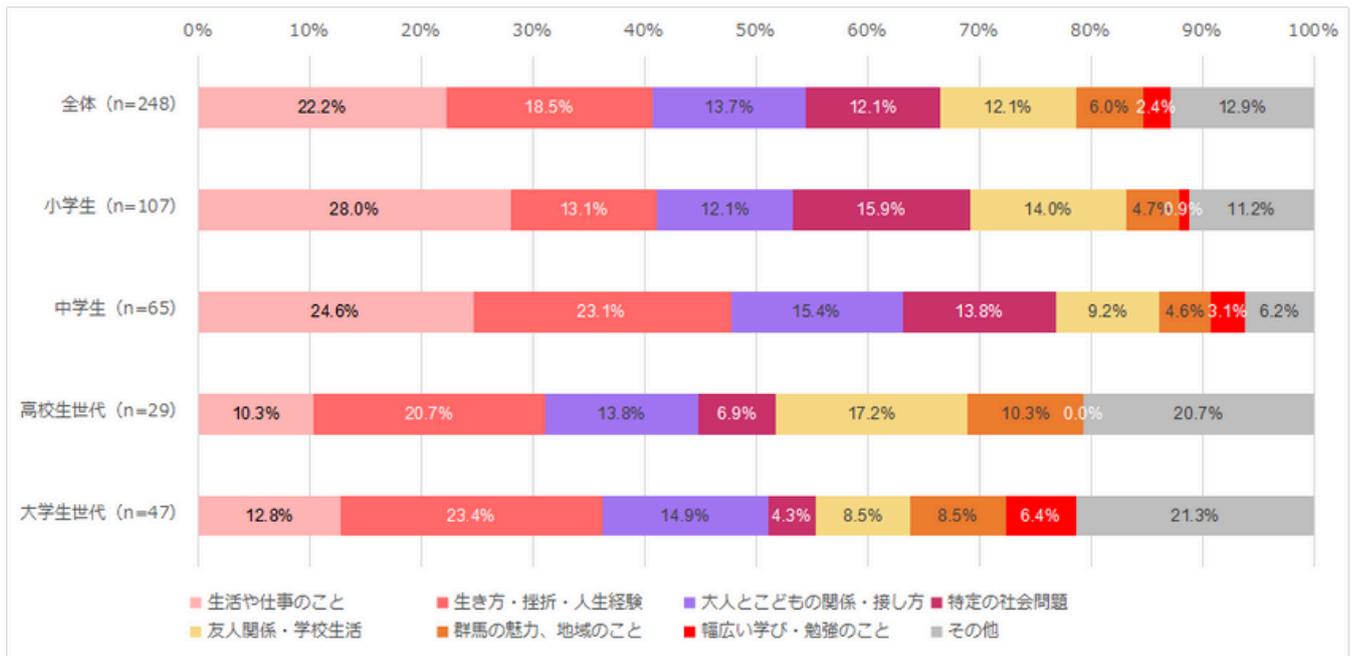
質問15

「大人」にきいてみたいことや、あなたと年齢の近い人たちで話し合いたいことはありますか？自分の考えや、ほかの人にきいてみたいことなど自由に書いてください。

※300字以内

※10月28日(月)に行うイベント「ぐんまこどもみらいフォーラム」のトークテーマの参考にします！

- 全体では多い順で「生活や仕事のこと」「生き方・挫折・人生経験」「大人と子どもの関係・接し方」への質問が多かった
- 小学生、中学生は他の世代に比べ「特定の社会問題」への質問が多かった
- 小学生、高校生世代は他の世代に比べ「友人関係・学校生活」への質問が多かった
- 高校生・大学生世代では他の世代に比べ「群馬の魅力、地域のこと」への質問が多かった



※具体的なコメント（抜粋）は次のページ

【みんなで話してみたいこと】

質問15

「大人」にきいてみたいことや、あなたと年齢の近い人たちで話し合いたいことはありますか？自分の考えや、ほかの人にきいてみたいことなど自由に書いてください。

※300字以内

※10月28日(月)に行うイベント「ぐんまこどもみらいフォーラム」のトークテーマの参考にします！

～具体的なコメント（抜粋）～

生活や仕事のこと

【大人への質問】

- 今の生活に満足しているか その理由（小学生）
- 子供の時になりたかった職業につけてますか？（小学生）
- 大人のお金の使い方（中学生）
- 仕事は大変か？大人に聞いてみたい。学校に行くのと働くのとどちらが大変か聞きたい（中学生）
- 健康に過ごすために気をつけていることはありますか（高校生世代）

【同世代への質問】

- みんなの家庭のインターネットやゲームのルールはどんな風になっているのか？（小学生）
- 就職活動のためにしていること、大学生活で大切にしていること（大学生世代）

生き方・挫折・人生経験

【大人への質問】

- 仕事をどうやって決めたのか。子どもを産んで幸せですか（小学生）
- 大人には、自分たちに、どんな大人になってほしいのか（中学生）
- 自分の将来をどう考えているか、大人には高校生の時に考えていた未来と今の違い（高校生世代）
- 自分にとっての幸せとは何かについてたくさんの人の話を聞きたい（大学生世代）

【同世代への質問】

- 不登校のクラスメイトがいて、1年経った。最初は休んでてずるいと思ったけど今は心配。みんなの周りに不登校の子はいる？どう思ってる？（小学生）
- 年齢の近い人たちとは、普段、窮屈に思うことはないか、勉強と部活をどうやって両立させているか、友達と気まずくなったとき、どうしているか、中体連の春季大会がなくなってしまったことに関して、どう考えているか、部活動の時間や、顧問の先生、練習内容について、どう思っているか、大人と話す時にどんな事を思うか、親と喧嘩してしまった時はどうするか、学校に行きたくないと思ったとき、どうするか、聞いてみたい（中学生）

大人とこどもの関係・接し方

- 大人は子供のことをどう思っているのか（可愛い、うるさい、面倒くさいなど）（小学生）
- どうして大人と子供でやって良いことが違うか？（小学生）
- 大人になって、子供の時と友達付き合いが変わったか？（中学生）
- 学校で習ったことがどのくらい役に立っているのか（高校生世代）
- 学生と社会人の違いや変化（大学生世代）

友人関係・学校生活

- なんで宿題しないとだめなの？（小学生）
- 学校に行きたくなくなったらどうすれば良い？（小学生）
- 部活動を半強制的にやらされるのか（高校生世代）
- いじめについて、無くならない理由（大学生世代）

↓次ページへつづく

【みんなで話してみたいこと】

質問15

「大人」にきいてみたいことや、あなたと年齢の近い人たちで話し合いたいことはありますか？自分の考えや、ほかの人にきいてみたいことなど自由に書いてください。

※300字以内

※10月28日(月)に行うイベント「ぐんまこどもみらいフォーラム」のトークテーマの参考にします！

～具体的なコメント（抜粋）～

特定の社会問題

- せんそうのないせかいにするためには？（小学生）
- 環境問題について。どれくらい知ってるのか教えて（中学生）
- 主にSNS上で起こっている異常なルッキズム思考について（高校生世代）
- どれくらい、この国・県にある差別を認識しているのか？また、それに対して何か行なっていることはあるか？（大学生世代）

群馬の魅力、地域のこと

- どうしたら群馬県の魅力を他県の皆さんにアピールできるかを話し合いたい（小学生）
- 群馬県の防災対策や、開催できていない祭り、昔は行われていた祭りの再開の意見交換など（中学生）
- 電車やバスの本数について話してみたいです。というのも、群馬県観光公式サイトモデルコースが半分くらい車移動だし、最寄り駅、太田駅から電車にのると言うと20、30分おきにしか電車がなく、車無しで移動するとなるととても不便に感じるからです（高校生世代）
- 現代の若者がどのように地域とかかわって群馬県を活性化させられるか。群馬県や前橋市主体のボランティア活動なども増やしていけたらよいのではないかと（大学生世代）

幅広い学び・勉強のこと

- 経済を小学校の特別授業に入れるかどうか・再生可能エネルギーをどう使用、普及させるか（小学生）
- 私たち子供も、政治に関して意見を言うことができるのだろう。これから社会人になっていく私たちは、経済問題、環境問題に対してどのようなことを考えていくべきなのだろうか。「大人」と「子供」の概念（中学生）
- 現在、学校の教育課程が少しずつ変化しており、子どもたちが勉強することが多くなってきていると思います。それに伴って、子どもたちの負担がかなり大きくなってしまっていると感じます。そうすると、勉強に対する意欲や興味が薄れていく恐れがあるのではないかと思います。何か対策できることはあるのでしょうか（大学生世代）

その他

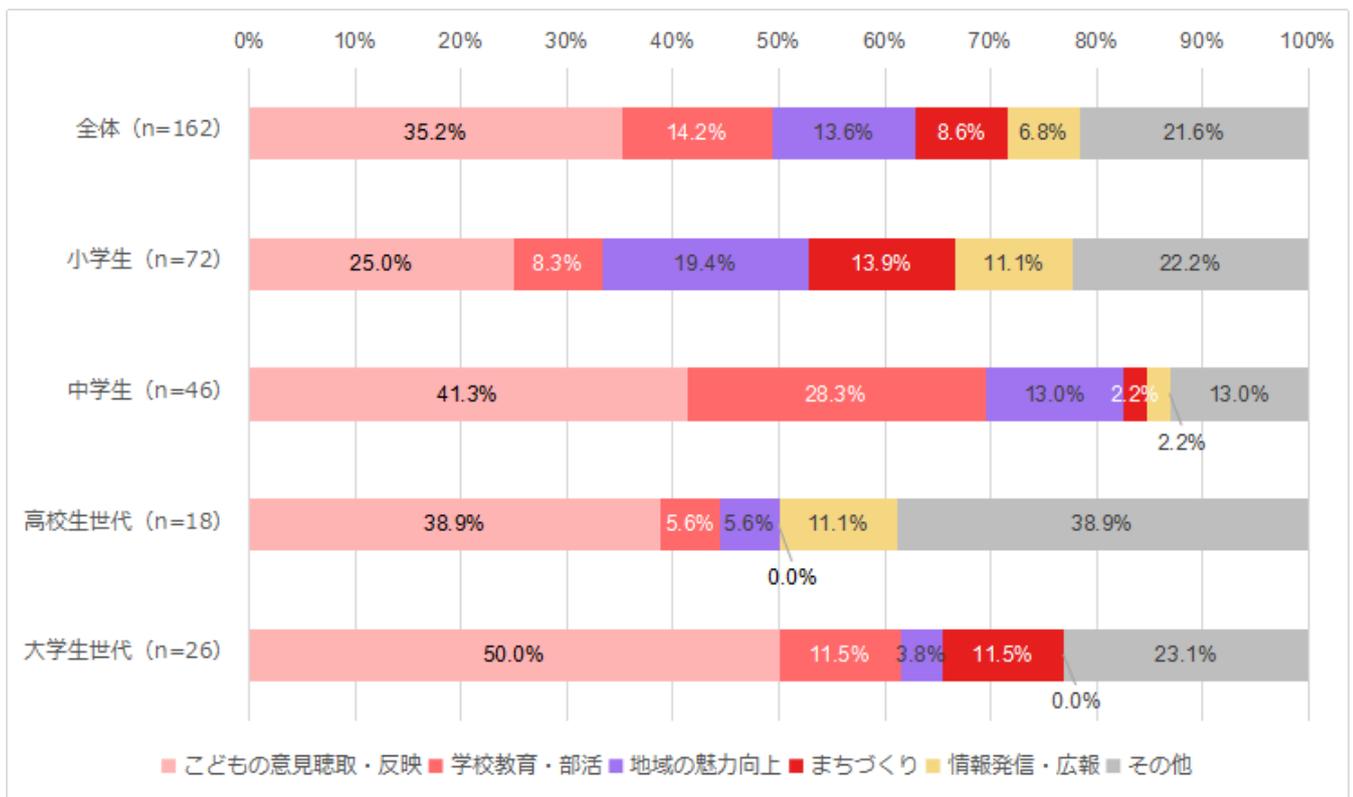
- 自分達には何が出来るのかを聞いてみたい（小学生）
- 子どもの権利尊重の具体的な政策（中学生）
- 子どもときいて、何歳ぐらいまでを想像しますか。子どもの定義は広く、人それぞれで違うと思うので、イメージしている子ども像について話したい（大学生世代）

【みんなで話してみたいこと】

質問16 今回のアンケートに関係することや、群馬県が行うことにも関連する様々な取組について、伝えたい意見があれば自由に書いてください。

※300字以内

- ・ 全体的に「こどもの意見聴取・反映」に関するコメントを多くいただいた
- ・ 小学生は「地域の魅力向上」が2番目に多く、中学生は「学校教育・部活」が2番目に多かった
- ・ 小学生、高校生世代は「情報発信・広報」に関するコメントも多かった
- ・ 大学生世代は各世代の中で「まちづくり」に関するコメントが一番多かった



※具体的なコメント（抜粋）は次のページ

【みんなで話してみたいこと】

質問16 今回のアンケートに関係することや、群馬県が行うことにも関連する様々な取組について、伝えたい意見があれば自由に書いてください。

※300字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

こどもの意見聴取・反映

- 子ども基本法がよく分からないので教えて欲しいです（小学生）
- 考えたことがなかったような質問が多かったので少し難しかったです（小学生）
- アンケートで出された意見で活用できるものは今後活かしてほしいです（小学生）
- 今回の様に希望者だけで無く、子供全員の意見が集約出来る取り組みを増やすべき（中学生）
- 自分は聞いた法などがあったけど、内容が知らなかったの、その理解を上げたい（中学生）
- 学生として率直な意見を書きたい反面、ではその意見の課題と解決方法にはどのようなものが挙げられるのか考えるのがとても難しかった（高校生世代）
- このように教師からの意見などではなく生徒自身、若者の当事者から意見を募る機会はとても大切だと思う（大学生世代）

学校教育・部活

- もう少しITを使った学習が増えると良い（小学生）
- 学校の体育着を廃止してほしい。どこでも買えて、安価なものにしてほしい（小学生）
- 部活や学校行事を通じて、もっと他の市町村の中学生と交流をしたい。冬にスキー体験や温泉地での職場体験などをしたい（中学生）
- 夏休みの期間において各市によって夏休みの期間が異なるのはあまり良いと思わない（中学生）
- 10月から初めて児童手当を親がもらうけど、高校卒業したら、もらえなくなるから、群馬県から、20歳くらいまでは学費を補助してほしいです。我が家は兄弟が多いから高校卒業した後の学費が心配です（高校生世代）
- 教員を含め子どもに関わる大人たちが、人権についてあまり知らない、子どもの持っている権利を知らないように見える場面が多々あるように思える。だから、大人も子どもも人権についてもっと考える機会を増やして欲しい。全ての子どもに、子どもと関わる大人に伝えて欲しい（大学生世代）

地域の魅力向上

- もっと、群馬県の東の方でもイベントとかをやって欲しいです（小学生）
- 大人になる前に楽しい経験を増やす取り組みを考えて欲しいです（小学生）
- 子供どうしてこういう系の勉強できるイベントがあったら良いと思う（小学生）
- 中高生に向けたイベントを実行してほしい（中学生）
- 就きたい仕事の体験型イベントを開催するはどうですか（中学生）
- 土日に無料で遊べる場が増えるといいです（大学生世代）

まちづくり

- 通学路の見直しや安全対策をもっとして欲しい（小学生）
- 頭の良い人が増えるように、いろいろな施設（TSUKURUNとか、勉強できる環境）を増やして、気軽に学べる街にしたい（小学生）
- 群馬は、他の県に比べて事故が多いので怖いです。あと、細い道が多くて、通るのが怖いです（中学生）
- 学生がもっと1人で動けるように、交通機関の発達（大学生世代）

情報発信・広報

- 群馬県に関するイベントなどに積極的に参加したいけど情報がなかなか伝わってこないの、情報をもっとわかるようにしてほしい（小学生）
- 群馬県が行う子どもに関連する政策について、私たち子どもが知る機会が少ないように思う（高校生世代）

その他

- 地球温暖化が進まないようにまずは群馬県が率先して対策をして欲しいです。また、あと6年で二酸化炭素の排出量を半分にしないとさらに温暖化が進んでしまってもっと暑くなってしまいますので阻止してください（小学生）
- 留学の支援をもっとして欲しい。安全で本格的に言語を教えてくれるところが欲しい（中学生）
- 子どものうちは医療費が全額負担してもらえるのがとても嬉しいです（高校生世代）
- 子ども第三の居場所がもっと群馬県にもほしい（大学生世代）

【第1回お楽しみクイズ】

質問 何のために「こども基本法」はできたのでしょうか？

答え  **正解**

- ①すべてのこどもが幸せに生活できる社会をつくるため
- ②こどもにルールを守ってもらうため
- ③ほうりつの大切さをこどもに知ってもらうため

かいせつ



すべてのこどもや若者が将来にわたって、幸せな生活ができる社会をつくるために「こども基本法」ができました。

この法律は、こどもが何かしなければいけないのではなく「こどものためにすべきこと」をみんなで考えて、実現していくためのものなんです。

もっと詳しく→ <https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo-kihon/>

アンケートのご協力ありがとうございました。みなさんの声は今後の群馬県の取り組みに生かしていきます。